

大阪作業療法 ジャーナル

Journal of the Osaka
Occupational Therapy Association : **JOOTA**

特集 アディクション

巻頭言	橋本 弘子	81
特集	[総論] 人はなぜ依存症になるのか.....	松本 俊彦	82
	依存症分野で作業療法士ができること ～岡山県精神科医療センターでの取り組み～.....	佐藤 嘉孝	87
	アルコール依存症を抱えた対象者への作業療法.....	小砂哲太郎	93
	生きづらさを抱える人たちへのまなざしと作業療法.....	西 広行	101
投稿論文	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行第1波における 訪問リハビリテーションサービスの利用状況とADL能力の経過.....	蕨野 浩	107
明日から使える評価方法	精神疾患当事者の地域生活に関する主体性を測定する試み： Five-item Subjective Personal Agency scale (SPA-5) の紹介.....	山口 創生	117
	介護者が使用可能なADL評価尺度の紹介 —Self Assessment Burden Scale—.....	兼田 敏克	121
書評カフェ	浦川 瑞生・増田 友美・田中 希枝	126
となりの街の作業療法士	大阪国際がんセンター ～患者の思いを受け止め、寄り添う作業療法～.....	藤本 侑大	131
	Let's do Occupational Therapy!!.....	松浦 哲也	136

大阪作業療法ジャーナル

第35巻 第2号

巻頭言	橋本 弘子	81
特集：アディクション		
〔総論〕人はなぜ依存症になるのか	松本 俊彦	82
依存症分野で作業療法士ができること ～岡山県精神科医療センターでの取り組み～	佐藤 嘉孝	87
アルコール依存症を抱えた対象者への作業療法	小砂 哲太郎	93
生きづらさを抱える人たちへのまなざしと作業療法	西 広行	101
投稿論文		
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行第1波における 訪問リハビリテーションサービスの利用状況とADL能力の経過	巖野 浩	107
明日から使える評価方法		
精神疾患当事者の地域生活に関する主体性を測定する試み： Five-item Subjective Personal Agency scale (SPA-5) の紹介	山口 創生	117
介護者が使用可能なADL評価尺度の紹介 —Self Assessment Burden Scale—	兼田 敏克	121
書評カフェ	浦川 瑞生・増田 友美・田中 希枝	126
となりの街の作業療法士		
大阪国際がんセンター ～患者の思いを受け止め、寄り添う作業療法～	藤本 侑大	131
Let's do Occupational Therapy !!	松浦 哲也	136
投稿規定		140
著作権規定		142
執筆要領		144
投稿論文チェックシート		146
編集後記・部員名簿		147

巻頭言

アディクション

橋本 弘子

森ノ宮医療大学

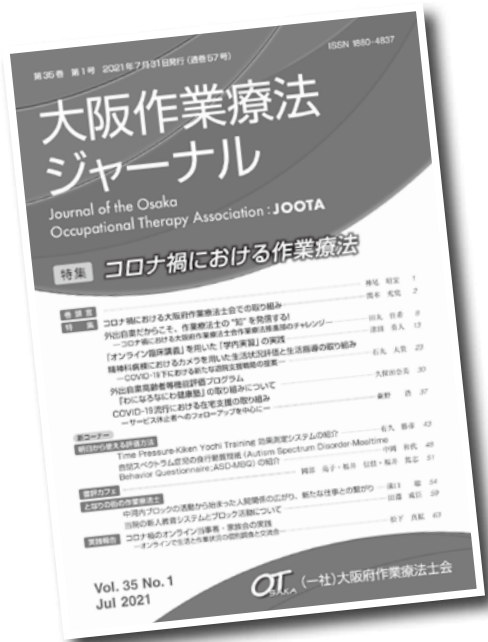
「アディクション」「依存症」と聞いて忘れられないエピソードがある。薬物依存の生活から立ち直り、サポートを受けながら自らもピアサポーターとして頑張っておられる A 氏にお話を伺った時の時のことだ。「このままでは、もうダメだ!と思いました。どこに助けを求めていいかわからなかったので警察に行き薬物を使用していると自首しました。罰せられました。助けは何にも得られなかった。私はまた薬物につかっけていきました」この言葉の中には、生きづらさの中で薬物に依存していった本人の苦しみ、このままではだめだと思ふ心の叫び、どこに行けばいいかわからない不安、何も解決しなかった絶望感が詰まっている。そして薬物依存症の人たちを取り巻く現在の問題が含まれている。どこに助けを求めていいのかわからないという事実である。日本は厳しい取り締まりによって薬物の乱用を防いでいるが、いったん薬物依存に陥った人たちの存在は見えにくい。A 氏は「薬物を使い始めた時、私は大丈夫って思うんです。なぜなら町のポスターは恐ろしいものばかりなので、自分はそんな風にはならない!と。でも考えたら、あのようなひどい有様に、薬物使用ですぐになるわけではない。またよくなられた方は、自分が依存症であったことを人には話さないで、情報は自分の体験だけなんです。私は本当に孤独でした」と語った。

今日、欧米先進国でアディクションとは「孤立の病」であり、その対義語は Sober (しらふの状態) や Clean (薬物を使っていない状態) ではなく、Connection (人とのつながりがある状態) であるという認識が広まってきている (「本当の依存症の話しよう Rat Prak & War on Drugs」Stuart McMillen)。そのうえで現在 80 以上の国や地域で導入され世界で主流となりつつあるハーム・リダクション (Harm Reduction = 被害の低減) アプローチがある。薬物を辞めるよりも当事者の健康被害を減らそうという考え方である。薬物利用者の多くは犯罪者扱いされ、周囲から Stigma (偏見) の目で見られ非難されている。社会が「ゼツタイ ダメ」といい、その行動、その人自身も「ゼツタイ ダメ」と否定したら、その人はどのようにその後の人生を歩んでいけばいいのだろうか。今回、特集の総説で松本先生が述べられているように「人はいかなる快樂にも呆れるほどにすぐに倦んでしまう生き物である」ならば、そのアプローチを変えていかねばならない。

作業療法士に何ができるだろうか。目の前の当事者を支援するといった視点と、アディクションに対する世界の動向を踏まえたうえで、この社会から疎外されることなく治療やケアを受けることができる場の提供が、できないだろうか。残念ながら今のところ、そのような場に作業療法士はまだ少ない。

今回の特集はアディクションについて第一人者の先生方にご執筆いただいた。内容はとても充実したすばらしいものとなっている。是非、じっくり読んでいただき今後ますます避けることのできないアディクション、依存症に対するご自身の考えを深めていただけたらと思う。

大阪作業療法ジャーナルに広告を出しませんか



大阪作業療法ジャーナルは年2回(1月と7月)発行しています。大阪の作業療法士が学術的発表や特集などを通じ学ぶ雑誌です。大阪府作業療法士会会員(現在会員数2,500人)や大阪の作業療学科養成校に配布され、一般にも販売されています。

広告はモノクロで A4 1ページ 3万円、1/2ページが2万円となります。

広告を希望される場合は、大阪府作業療法士会事務局までお願いします。

〒540-0004 大阪府中央区玉造2-16-8
 玉造井上ビル6階
 TEL : 06-6765-3375
 FAX : 06-6765-3376
 E-mail : jim@osaka-ot.jp

大阪作業療法ジャーナル 第35巻 第2号

発行人：関本 充史

(一社)大阪府作業療法士会

〒540-0004 大阪府中央区玉造2-16-8 玉造井上ビル6階

TEL : 06-6765-3375 FAX : 06-6765-3376

URL : <http://osaka-ot.jp> E-mail : jim@osaka-ot.jp

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL : 096-382-7793 FAX : 096-386-2025

